



第76回牧水祭を開催します けんしゅ 献酒にお越しくささい

第 76 回牧水祭【牧水没後 98 年】

- 主 催 日向市・日向市教育委員会・日向若山牧水顕彰会
■期 日 令和 8 年 9 月 17 日（木） 牧水の命日
〈雨天決行、荒天の場合は順延（前日判断）〉
■場 所 牧水生家周辺及び牧水公園ふるさとの家
受付 午前 9 時～ 牧水生家駐車場



- 〈第 1 部 歌碑祭〉 時間 9:30 ～ 10:00
場所 牧水生家 夫婦歌碑前
内容 歌碑前において短歌朗詠、献酒

- 〈第 2 部 牧水を偲ぶ会〉
時間 10:20 ～ 14:00
場所 牧水公園ふるさとの家
内容 ○偲ぶ会 10:20 ～ 12:00
①牧水短歌朗詠・斉唱 東郷学園児童
②講演『牧水のみち』
伊藤一彦氏（歌人、若山牧水記念文学館館長）
○懇談会 12:10 ～ 14:00
牧水が好きだった田舎料理を囲んでの懇親会（会費 1,000 円）

既に受付が始まっております。一度見てみよう、行ってみようかと思われる方、ぜひお越しください。詳細は、公式ホームページ、Instagramに掲載しております。直接文学館までお問い合わせいただいてもかまいません。公式ホームページ、Instagram、連絡先は最上段に表示しています。

短歌実作基礎講座(初心者コース) 2年目を迎えました

- 1 ねらい みそひともし
(1) 5・7・5・7・7の三十一文字のリズムを知り、短歌に触れる機会をもつ。
(2) 短歌実作および鑑賞を通して、短歌の基礎を学ぶ。
(3) 歌人若山牧水が東郷町坪谷に生まれたことを知り、「短歌のまち日向」づくりを盛り上げる。
(4) 宮崎日日新聞「宮日芸芸短歌部門」等への投稿気運を高める。
2 主催 日向若山牧水顕彰会
3 アドバイザー 日高尚子氏 日向市在住 「心の花」所属
鈴木睦代氏（補佐） 日向市在住

上記のねらいを掲げ、本講座は昨年度開講し、新しい講座生を迎え、7月7日（火）に今年度1回目の講座を開催しました。初心者講座生の投稿歌は以下のとおりです。

春嵐（しゅんらん）や動きもにぶる老の目よ友の訃報を広報で見る
颯爽と畳にあがる孫の顔礼に始まり礼に終わるや
絵本見て「スリジャヤワルダナプラコッテ」吾子と唱えし夏は懐かし
山あいを走る車窓に春霞ひっそりと咲く山桜を隠す
アジサイの鮮やかな花贈られて毎年届く子等の二鉢
誕生日長生きしてねラインあり孫の言葉にうれしはずかし
雨含み重くしなった若い竹雨が上るとまた空めぎす
重力と遊ぶがごとし太極拳心をゆるめ宇宙遊泳
居住まいを正して座る娘と彼に我が子育てが終わる日がある



あじさいの切り花くれるひとがいて四十五（しじゅうご）年の重み知る朝
 はい！味見丸ごと一本とうもろこしガブリと噛んで旬を味わう
 我を見よと言わんばかりに胸をはる赤紫蘇畑にひまわり一花
 いかがでしょうか。今年もゆっくり、そして楽しく歌づくりに励んでいきます。

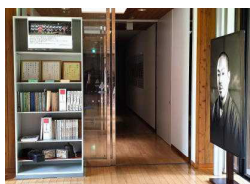
小田加奈子コンサート開催 ご予約お急ぎください



郷土の歌人若山牧水を郷土の歌手が歌うコンサートを牧水生誕の前日、牧水生誕の地で開催します。古関裕而作曲の「白鳥（しらとり）」の歌、「坪谷慕情」他を歌っていただきます。そして、今年は声優、FMひゅうがパーソナリティでおなじみ池田知聡（ともあき）さんに友情出演いただき、牧水の随筆他を朗読していただきます。お誘い合わせの上どうぞお越しください。

日時	令和8年8月23日（日）	開場 12:30	開演 13:00
会場	若山牧水記念文学館		
料金	前売り券 1,500円（当日券 2,000円） 小中学生 600円（当日券 800円）		
主催	若山牧水記念文学館・日向若山牧水顕彰会		

坪谷小コーナー 見に来てください



牧水先生をはじめ 1,850 名の卒業生を送り出した坪谷小学校に残された「ポスト文集」（短歌集）、「おすず」（作文集）、「卒業文集」他を文学館で閲覧できるようにしています。地域のみなさん、帰省されている卒業生のみなさん、どうぞお立ち寄りください。文学館はいつでも開放しています。詳細は、文学館だより7月号とインスタグラムをご覧ください。

●展示場所 若山牧水記念文学館ギャラリー ※坪谷小コーナー閲覧は入館料無料です
 ●開館時間 9:00～17:00 ※祝祭日を除く月曜日は休館ですのでご注意ください

牧水先生の一首

折に触れて出会う一首を紹介しています

鰯つりかいかつり舟かさふねのわづか群れをり羽後の坂田は

あじつりか いかつりふねか ささふねの わずかむれおり うごのさかたは

この歌は、大正6年（1917）8月、秋田の歌会に出席するため、坂田を訪れた時に詠まれたものである。第11歌集『さびしき樹木』には、「初めて酒田港を見る」と前書きがあり、

「ささ舟の鰯つり舟か鳥賊つりかわづか群れみぬ羽後の坂田は」と収められており、今回紹介した歌「鰯つりか」が原作で旅行の直後に書かれたものであろう、と大悟法利雄氏は書いている。8月からの牧水遺墨展示（第1展示室）にはこの歌の真筆がお目見えする。ぜひ間近で見ていただきたいと思っている。

参照 『若山牧水全集 第6巻』増進会出版社 『若山牧水の書』大悟法利雄著

お知らせ

- 我々が館長伊藤一彦先生が「第36回宮日出版文化賞」（宮崎日日新聞社主催）特別賞を受賞されました。受賞作『若山牧水全歌集』（伊藤一彦編、角川文化振興財団）。おめでとうございます。
- 企画展「牧水43年の生涯～没後100年の軌跡を辿る」第4期『早稲田の牧水』が8月5日（水）から始まります。歌人若山牧水の誕生をご堪能ください。
- 第16回牧水・短歌甲子園が8月8日（土）～9日（日）日向市中央公民館で開催されます。10代のわけもんが詠む短歌、討論をぜひ会場でご覧ください。
- 8月24日（月）は若山牧水生誕の日です。延岡市において若山牧水生誕祭が開催されます。（若山牧水延岡顕彰会主催）
- 8月21日（金）、UMK4時どき！に若山牧水記念文学館、牧水生家の今?昔?が放映される予定。
- 7月末の夕方、生家を閉めに行くと、袋と火ばさみを持った少年が一人でゴミを拾っていました。あの広い駐車場も。つばやっ子（と呼ばせてください）、ありがとう。